

※ 未提出者への督促後に新たに提出（入力）されたレポートも含めた集計結果です

※ 「スポーツ科学」および学士力発展科目の「生涯スポーツ実践」についてまとめた

設問 1（授業科目名・クラス名）

設問 2（科目コード）

設問 3（回答者名）

※ 以下、各選択肢の右に該当クラス数を記す。（全回答数に対する回答率も附記）

A（問 4～13）：授業担当者として教授技法や授業内容等に関し、教育活動を自己点検し、次の①～④のうち該当する丸数字を選んでください。 ①:あてはまる ②:ややあてはまる ③:あまりあてはまらない ④:あてはまらない

設問 4 シラバスに沿って授業を行えた。

①:3 (25%) ②:8 (67%) ③:1 (8%) ④:0 (0%) 未回答:0 (0%)

設問 5 学生の理解度やレベルを踏まえて授業内容を設定・調整した。

①:5 (42%) ②:6 (50%) ③:1 (8%) ④:0 (0%) 未回答:0 (0%)

設問 6 話し方、板書の仕方、機器又は器具の使い方、等が適切だった。

（教授技法の適・不適の観点で柔軟に回答してください。）

①:1 (8%) ②:10 (83%) ③:1 (8%) ④:0 (0%) 未回答:0 (0%)

設問 7 重要ポイントを明示し、分かり易く説明した。

①:2 (17%) ②:9 (75%) ③:1 (8%) ④:0 (0%) 未回答:0 (0%)

設問 8 学習意欲や知的好奇心・関心を掻き立てたり満足させる教え方ができた。

①:2 (17%) ②:8 (67%) ③:2 (17%) ④:0 (0%) 未回答:0 (0%)

設問 9 受講生の信頼を得るような授業態度で授業に臨んだ。

（授業を周到に準備し、休講・遅刻を極力控え、進行を妨げる行為（私語など）に対して毅然として実施した。）

①:7 (58%) ②:5 (42%) ③:0 (0%) ④:0 (0%) 未回答:0 (0%)

設問 10 受講者とのコミュニケーションを図りながら授業を進めた。

（発問への回答を学生に求めた/学生からの質問・発言を促した/学生の理解度を確かめながら進めた

/学生の授業への能動的な参加（アクティブ・ラーニング）を促した 等）

①:6 (50%) ②:6 (50%) ③:0 (0%) ④:0 (0%) 未回答:0 (0%)

設問 11 授業内容に見合った予習・復習或いは発展学習を課した。

①:0 (0%) ②:4 (33%) ③:3 (25%) ④:5 (42%) 未回答:0 (0%)

設問 12 総合的に判断して学生を満足させる授業が行えた。

①:0 (0%) ②:11 (92%) ③:1 (8%) ④:0 (0%) 未回答:0 (0%)

設問 13 シラバスに掲げた当初の授業目標（ねらい）は達成された。

①:1 (8%) ②:9 (75%) ③:2 (17%) ④:0 (0%) 未回答:0 (0%)

B（問 14～18）：FD活動についてお尋ねします。

設問 14 この授業科目に関してこの 1 年間取り組んだ FD 活動を選んでください。（複数回答可）

- ①他教員の授業参観： 4 (33%)
- ②学内外の FD 講演会等への参加： 6 (50%)
- ③他大学の FD 活動の視察： 1 (8%)
- ④その他： 1 (8%)・・・「卓球技術習得のための自己研鑽」
- 未回答： 1 (8%)

設問 15 今後取り組もうと考えている FD 活動を選んでください。（複数回答可）

- ①他教員の授業参観： 7 (58%)
- ②学内外の FD 講演会等への参加： 3 (25%)
- ③他大学の FD 活動の視察： 2 (17%)
- ④その他： 3 (25%)・・・「他大学への授業視察」2 クラス、「多種目にわたる運動技術の習得」
- 未回答： 0 (0%)

設問 16 昨年度も同一科目を担当した方は、前年度の授業評価に基づき、改善した点を書いてください。

該当するクラスのうち、 回答：7 クラス

[1] 個別に技術指導を実施して技能向上を図った。・・・2 クラス

[2] 以下の 2 点を理由に、本年度の授業内容は昨年度と大きく異なるものになりました。

- ①授業評価が概ね良好であった。
- ②授業評価が低かった個人が特定されないために、改善に向けた話し合いが持てなかった。

具体的な改善点としては、学生自身が選択する課題の数を増やしたことです。

・・・2 クラス

[3] 改善点

・休講及び補講について・・・既にわかっている休講及びその補講について、直前ではなく、オリエンテーションで伝えることができた。

・熱中症対策について・・・昨年以上に、こまめの水分補給を心がけた。

・・・2 クラス

[4] 改善した点

・受講生の人数について・・・各種目とも少人数で実施した。

・インリーダーについて・・・これまでは保健体育科の 2 年生にインリーダーをお願いしていたが、今年度は、同じく保健体育科の 4 年生に受講を呼びかけ、併せてインリーダーをお願いした。その結果、さすが、実習を体験している学生たちで、他の受講生が充分満足する活動が展開した。

設問 17 自分の授業の評価できる点や反省すべき点、或いは、この FD 活動レポートに関して特記すべき点があれば書いてください。

回答： 9 クラス（順不同）

[1] 技能に応じた課題内容の検討が必要である。・・・2 クラス

[2] FD 活動は行われるべきですが、学生にも評価責任が課せられるべきだと考えます。現行が維持されれば、単位取得が容易な授業が高い評価を得る傾向が強くなると思われます。氏名もしくは学籍番号の記載がないものは評価に値しないと考えます。授業の改善を図るには、学生とのコミュニケーションが必要と考えますが、現行のFDはそのツールにはなっていないと思われます。・・・2 クラス

[3] 実技・実習として、学ぶべきポイントを明確にしたい。

[4] 評価できる点

・複数の指導者（担当教員と芸術家）により、効果的な授業を行うことができた。

[5] 反省点

・この季節の天候に配慮して、屋外での活動を計画したが、予想した以上に気温が高く、室内の活動に変更ざるを得なかつた。

・補講について・・・口頭で指示をしたため、周知が徹底しなかつた。

[6] 卓球の授業であったが、学生のプレー時間をできるだけ多くし、スキル向上と学生相互のコミュニケーションを促した。

[7] 反省点

・共通教育の必修と重なり、予想を大幅に下回る受講生数となり、グループ種目の実施を諦めざるを得なかつた。

設問 18 FD 活動レポートに関して特記すべき報告があれば添付ファイルで提出してください。

提出ファイル： なし

C（問 19～21）：中期目標・中期計画のうち「コミュニケーション能力の育成」についてお尋ねします。

設問 19 授業に「コミュニケーション能力の育成」を考慮した内容が含まれていますか？

①はい： 9（75%） ②いいえ： 2（17%） 未回答： 1（8%）

問 19 で「はい」の方は問 20、21 にお答えください。

設問 20 下記のどの点を重視しましたか？（複数回答可）

- ①聞いて理解する： 2（17%）
 - ②読んで理解する： 0（0%）
 - ③自分の考えをまとめて話す： 2（17%）
 - ④自分の考えを文章にまとめる： 0（0%）
 - ⑤討論する： 1（8%）
 - ⑥皆の前でプレゼンテーションする： 2（17%）
 - ⑦その他： 1（8%）・・・「グループ単位で活動内容を決定させた」
- 未回答： 4（33%）

教員 FD 活動レポート（基礎教育）H27 前期 まとめ 保健体育部会

設問 21 「コミュニケーション能力の育成」に関して具体的な取り組みがありましたら、記述してください。

回答： 4 クラス

[1] 自主的なゲーム運営の中でコミュニケーションを図らせた。

[2] 毎授業の最初に、グループ活動の内容を話し合いによって決定させた。

[3] 平成 26 年度に取り組んだ「児童生徒のコミュニケーション能力の育成に資する芸術表現体験」(文部科学省)の取組映像を紹介し、意見交換を行った。

[4] 具体的な取組

・2人組の活動については、毎回、相手を変えるように指示し、誰とでも活動ができるようにした。

D (問 22～25) : 中期目標・中期計画のうち「地域を教材とする基礎教育/共通教育プログラム」についてお尋ねします。

設問 22 授業に「地域（宮崎）を教材とする」内容が含まれていますか？

①はい： 2 (17%)

②いいえ： 9 (75%)

未回答： 1 (8%)

問 22 で「はい」の方は問 23～25 にお答えください。

設問 23 その内容を授業に取り上げるおよその回数を選んでください。

①1～5回： 2 (17%)

②6～10回： 0 (0%)

③11～15回： 0 (0%)

未回答： 10 (83%)

設問 24 「地域」のどのような分野を取り上げていますか？（複数回答可）

①歴史・文化： 2 (17%)

②政治・経済・産業： 0 (0%)

③自然環境・フィールド体験： 0 (0%)

④その他： 1 (8%)・・・「地域で実施されている」ラジオ体操第1から第2」

未回答： 10 (83%)

設問 25 「地域を教材とした基礎教育/共通教育プログラム」に該当する特色ある活動がありましたら、記述してください。

回答： 1 クラス

[1] 地域のラジオ体操に参加・交流することで、自身が住む地域を理解する。